

「わけ」の用法

「わけ」は漢字では「訳」「理由」と表され、下記のような用法があります。

1. 文末の「～わけだ」の三つの意味

(1) 別の側面からの解釈

(a) 「卒業したら就職するよ」「いよいよ君も社会人になるわけだ」

(2) 当然の帰結

(a) 定価1万円が2割引きか、8千円になるわけだな。

(b) 「6歳から12歳まで米国にいたんだ」「じゃあ6年間英語で生活していたわけだ」

(3) 因果関係を認める

(a) 寒いわけだ。雪が降っている。

(b) 「花子は婚約したらしいよ」「どうりで幸せそうなわけだ」

2. 「わけではない」「わけでもない」

否定・断定を和らげる役割がある

(a) 欲しくないわけではないけれど、お金がない。

(b) テレビをつけているが、見ているわけではない。

3. 「わけがない」「わけはない」

「はずがない」の意味で使われる。

(a) うちの子がそんなことをするわけがない。

(b) ほめられて、うれしくないわけがない。

4. 「わけにはいかない」「わけにもいかない」

物事の道理を示す。

(a) 風邪を引いたが、納期が近いので、会社を休むわけにはいかない。

(b) 税金は、高くても払わないわけにはいかない。

「わけにはいかないか」の形で、婉曲に希望・要求を表す。

(c) お金を貸していただくわけにはいきませんか。

上記(c)は、「お金を貸していただけませんか」「お金を貸していただきたいんですが」を一層遠回しに表現したもので「お金を貸してください」の意味である。

参考)

「と言うわけで、～」は、「従って」「だから」「それで」「故に」などと同じ意味で用いられ、言い換えや結論を示す。

(a)今日は授業が休みになった。と言うわけで、ゆっくり寝ていた。

(b)新幹線に乗ろうとしたら、満席でした。と言うわけで、飛行機で来ました。